
普通でありたい過負荷な異常者

Fe

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

普通でありたい過負荷な異常者

【Nコード】

N1448Z

【作者名】

Fe

【あらすじ】

『普通でありたい』と願う少年は箱庭学園へと入学する。しかし、彼は異常であり過負荷である。彼のこれからの学園生活はどうなるのか！？（作者文才のセンスは1ミリもありません）

プロローグ（前書き）

初投稿のせいか駄文です…

生暖かく見守ってください。

プロローグ

とある学校のグラウンド
で多くの学生が倒れている中、その中心に一人の少年が立っていた。
その少年の手からポタポタと真っ赤な血が下へと落ちていく。

少年の名は『桜島紅葉』さくらじまこうよう。

幼少の頃にある事をきっかけに孤独な生活を送っていた。家族に見捨てられ研究所で実験動物または玩具のような扱いを受けてきたのだ。

そんな中一人研究所から抜け出し今まで生きてきた。頼れる人物もいない紅葉は

一人孤独に暮らしていた。

「またか…。」

ポツリと誰にも聞こえないような声の大きさで紅葉は言葉を漏らした。

『普通でありたい』

それが今の紅葉の最も欲しているものだった。しかし、今の紅葉は毎日喧嘩を吹っ掛けられては相手をボコボコにする日々が続いた。

金や地位や名

誉なんていらぬ。ただ、普通でありたい。

「これは中々興味深いですね。」

その声の方向へ振り向くと、一人の老人が紅葉に向かって歩いて来ている。

「誰だアンタ？」

「私は箱庭学園の理事長をしている不知火袴といいます。」

そう言い紅葉の顔を見ると満面の笑みとなった。

「「桜島君には

とても素晴らしい才能があります。とても興味深い。」

「何故俺の名前を知っている？」

そう言うと紅葉は少し殺気を放ちながら言い放った。

「まあまあ、そう身構えずに、…実は君に提案がありましたね。」

その言葉に不思議に思いながらも、とりあえず聞いてみる事にした。

「単刀直入に言います、箱庭学園に来ていただけませんか？あなたの才能を潰す訳にはいきません。」

「…」

その言葉に少し戸惑いを覚えた。しかし、同時にわずかな喜びが浮きでできた。何せ紅葉は、人に興味を持ってもらえるのは久しぶりなのだから。

「…良いだろう。」

「そうですか！では早速ですg」ただし条件がある「…何でしょうか？」

紅葉は袴の目をしっかりと捉えこつ言った。

「普通でいられる事、これが条件だ。」

プロローグ（後書き）

初投稿キンチョーしました（笑）

次回は主人公紹介でもしていきます。

主人公紹介（前書き）

設定がすごく長くなりました。

設定作るのがって疲れますね（、；、）

主人公紹介

【名前】

桜島紅葉
さくらじまこうじ

【性別】

男

【容姿】

赤髪で髪を下に下ろしている。（禁書の垣根帝督のような感じ）
目が死んでいて、制服は胸元を開けている。
顔は中の上で善吉より少し背が高いぐらい。

【性格】

普段は大人しい（？）が、自分の邪魔をされると男女問わず容赦無しになる。

面白い事は善悪問わず好きである。

普段から普通の学生として生きてこなかったせいか、的外れな言動が多くいわゆる天然である。

【異常】

『オーガ
暴鬼』

身体能力の超強化や身体全体の硬質化の能力。

身体能力はめだかの乱神モードを軽く凌駕し、例えばどんな攻撃を受けても無傷でいられる皮膚を持つ。

【過負荷】

『マイ・ワールド
素晴らしき世界』

自分を対象にする相手の異常や過負荷を無効化する。これによつて多磨川の『却本作り（ブックメーカー）』や志布志の『致死武器^{デッド}』による精神的ダメージも無効化出来る。
また、めだかの『完成^{ジ・エンド}』でもコピー出来ないようになってい
る。

【過去】

生まれて数ヶ月で読み書きをマスターし、両親も最初は我が子の天才ぶりを喜んでいたが次第に気味悪がる。

結果、研究所に売り渡され実験動物のような扱いをされる。

（この影響で過負荷が発生する）

これと同時に幼少の頃のめだか達と接触しており、人生についてめだかに説き興味を持たれる。

度重なる実験への恐怖や両親に対する恨みが積もり、研究所の研究員を虐殺し脱走する。

また、双子の妹がおり妹自身も異常であつたが紅葉の二の舞にならぬように嘘を演じていた。これにより、紅葉は妹の事はあまり快く思っていない。

主人公紹介（後書き）

こんな感じですかね。

次回から本編入ります！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1448z/>

普通でありたい過負荷な異常者

2011年12月5日17時57分発行